

平成23年5月26日

お 知 ら せ

資料提供

三次記者クラブ

東日本大震災の支援活動で活躍した 災害対策機械の帰還式を行います！

3月11日に発生した東日本大震災の復旧支援活動のため、三次河川国道事務所から東北地方に派遣していた災害対策機械の帰還式を下記のとおり行います。

三次河川国道事務所が派遣した災害対策機械は3台で、3月13日に三次河川国道事務所を出発した後、東北地方で計79日間に及ぶ災害復旧支援活動に従事し、来る5月30日に三次河川国道事務所に無事帰還することとなりました。

今回開催する帰還式では、災害対策機械の三次河川国道事務所長への引き渡しと支援活動の報告が行われます。この帰還式の状況を皆さんに知っていただくことで、三次河川国道事務所が保有する災害対策機械が安全で安心できる地域づくりにどのように役立っているかについて、多くの方に関心を持っていただきたいと考えています。

日 時 : 平成23年5月30日(月)10:00~10:30

場 所 : 三次河川国道事務所三次出張所

(三次市十日市東5丁目18番1号:詳細は別図のとおり)

帰還する機械 : 排水ポンプ車2台、照明車1台

●問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長(河川担当)

榊井 芳樹

【担 当】河川管理課長

田村 実

【広報担当】建設専門官

中井 喜美男

TEL:(0824)63-4121(代表)

位置図



帰還式会場



東日本大震災 緊急排水「仙台空港再生」の第一歩

仙台空港再生に向けた排水作業のため、全国の地方整備局保有の排水ポンプ車を集結し、約1週間で概ね排水完了
(3月27日)

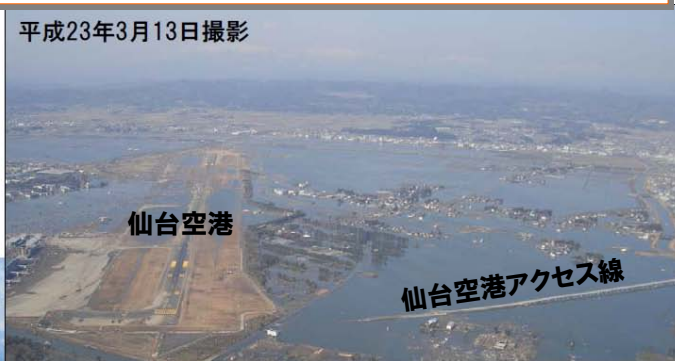


【仙台空港北部の湛水状況】

平成23年3月27日撮影

- 【緊急排水概要】3月26日時点
- ・排水ポンプ車配備延べ176台日
 - ・排水開始3月20日(一部13日から開始)
 - ・総排水量(試算)約500万m³(25mプール約14,000杯分相当)

平成23年3月13日撮影



平成23年3月19日撮影



津波による湛水状況

陸上自衛隊捜索活動



3月20日撮影



3月20日撮影

排水ポンプ車稼動状況(平成23年3月20日)

3月18日時点



車体の半分が冠水

3月24日時点



蛙呼が露出

地表まで排水

排水効果湛水深の減少



・3月13日時点に比べ、浸水範囲が縮小し、蛙呼が露出しています。
・仙台空港アクセス線のトンネル出入口部の状況が確認可能となっています。

排水作業中

トンネル入口部

トンネル出口部

東日本大震災 自治体の支援(緊急排水対策)

排水ポンプ車により24時間体制で排水作業を実施

国土交通省による排水対策実施箇所 4月14日現在

- ・地震津波により、太平洋側沿岸で約1億1,200万m³(東京ドーム約90杯分)が湛水。(3月13日時点)
- ・排水ポンプ車により、4月14日までに約3,400万m³を排水。自然排水と併せ残りは約900万m³(約8%)に減少。
- ・湛水域の水深が50cm以上は、排水ポンプ車により4月末を目処に排水(約200万m³)。残りは小型ポンプや海岸堤防の復旧に併せて実施。



津波により排水機場が浸水。原動機等が水没。



3月24日撮影
津波により排水路に瓦礫が散乱。一部は水路に埋没。



3月24日撮影
津波により排水路に瓦礫が散乱。一部は水路に埋没。



河川水や海水を隔てる堤防が津波により流失。



浜市排水機場(東松島市)



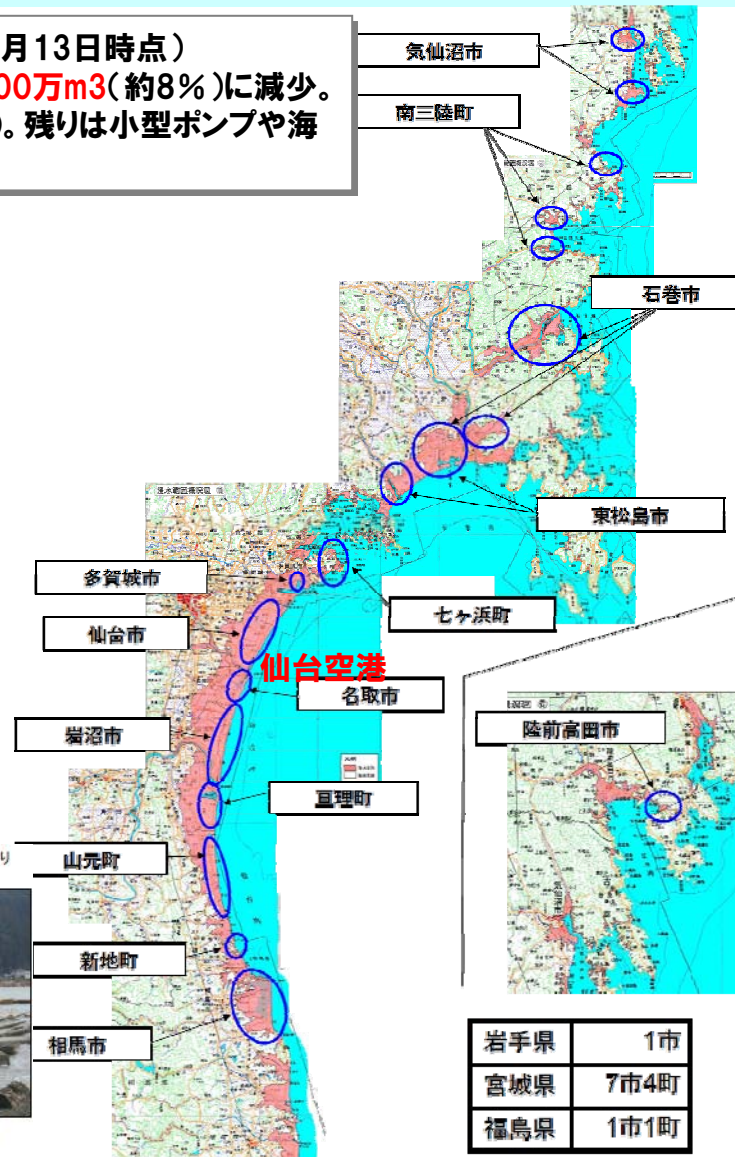
中下排水機場(東松島市)



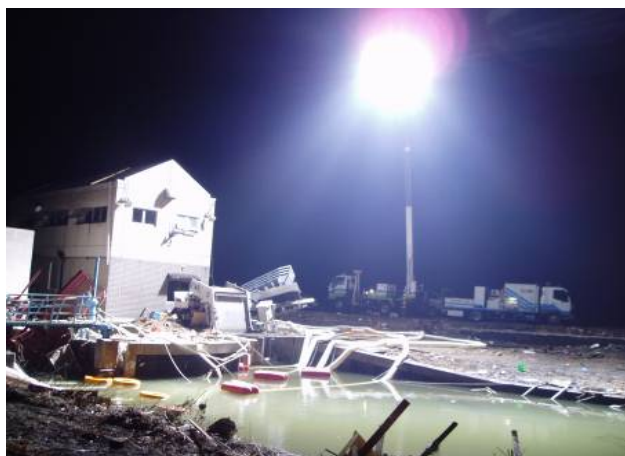
九号排水路(亶理町)



北上川右岸堤防(石巻市)



東北地方各地で災害復旧支援活動に従事する建設機械



行方不明者の捜索活動を支援するための排水作業及び夜間照明
(宮城県東松島市)



宮城県石巻市釜谷での排水作業



宮城県七ヶ浜町での排水作業

※この資料は、国土交通省が保有している建設機械の活動状況を示すものであるため、必ずしも三次河川国道事務所が派遣した機械が写っている訳ではありません。